

新安保法制の撤回を求める信州大学人の会 第26回シンポジウム

基調報告

樋口 陽一

憲法学 東北大学・東京大学名誉教授
憲法学の泰斗。立憲デモクラシーの会共同代表。

コメンテーター

板垣 雄三

中東研究 東京大学・東京経済大学名誉教授
中東研究の第一人者。アメリカの「対テロ戦争」を強く批判。信州イスラーム世界勉強会代表。

石川 健治

憲法学 東京大学教授
閣議決定による解釈変更を「法学的意味におけるクーデター」と位置づけ、安倍政権の「非立憲」的手法を批判。

黒木 英充

中東地域研究・東アラブ近代史 東京外国語大学教授
中東研究の立場から新安保法制の制定に反対し、またIS（イスラム国）人質事件の政府対応について批判的に論じる。

西欧近代の光と影から日本国憲法の「今」を考える

危機に立つ 立憲主義者

2017年 **8月5日** (土) 10:30~12:30

入場無料

申込不要

信州大学 経法学部 第3講義室

いつもと開催時間・場所が異なりますのでご注意ください。

次回 2017年9月12日(火) 18:30~20:30 報告者：松本猛氏

新安保法制の撤回を求める信州大学人の会 連絡先：成澤研究室 0263-37-2948